

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

睦沢町	睦沢町教育委員会 担当課：教育課 学校教育班 電話番号：0475-44-2509
-----	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	1校	② 生徒数	150人	③ 部活動数	2部活
--------	----	-------	------	--------	-----

1.2 地域における現状・課題

最終的な目標は休日の部活動の完全移行であるが、現状として問題は多い。まず、教員が地域と連携することの理解を得ることが難しい。「部活動は学校で行うものである」という認識が広くあり、本事業の推進の壁となっている。他にもスポーツクラブ利用料負担を保護者に理解してもらうことも課題である。地域部活動は受益者負担であることを周知することが求められている。

1.3 実践研究における取組目標

- ・専門的な指導やスポーツに打ち込める環境を提供する。
- ・部活動を休日総合型スポーツクラブに移行する。（活動場所は部活動によって相談）
- ・アンケートや聞き取り調査を行い、実態を正確に把握する。

1.4 実践研究の運営体制

睦沢町

業務委託（指導員派遣）



むつざわふれあいスポーツクラブ

（睦沢町総合運動公園）

毎週土曜 13:00～16:00

睦沢町

業務委託（外部指導者派遣）



中学校体育館にて活動

毎週日曜 13:00～16:00

睦沢ふれあいスポーツクラブからコーチを派遣

睦沢町教育委員会 → 各機関の連絡調整を行う。

2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

指導者と部活動顧問をメンバーとしている検討会や報告会を年に数回、開催している。

令和5年2月に開催された睦沢町スポーツ関連団体連携会議の場で、睦沢町の地域部活動の現状をスポーツ関連団体の代表や学校長へ説明を実施した。また、その場で睦沢町地域クラブ活動推進協議会の設立を提案され、令和5年3月16日に設立総会を実施する運びとなった。今後は、睦沢町の地域部活動の方針を本協議会で決定する。

また、睦沢町では生徒の数が少なく、特に団体競技では町内だけでは人数が揃わない部活動が発生している状況である。このような状況を鑑み、他の市町村との連携も必要であることから広域的な取り組みも視野に入れて、来年度以降の活動を進めていきたい。

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	1校（睦沢町立睦沢中学校）
② 実践研究に取り組んだ部活動数	2部活
③ 種目	卓球、バレーボール

《主な取組例（１）》睦沢町立睦沢中学校

① 運営主体	睦沢ふれあいスポーツクラブ		
② 種目	卓球	④ 参加者数	5人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	睦沢総合運動公園
⑦ 指導者人数	2人	⑧ 謝金単価	1人あたり 1,600 円/時間（補助は 1,000/時間）
⑨ 指導者属性	スポーツ指導員		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり（1人あたり：3,500 円/年額）		

《主な取組例（２）》睦沢町立睦沢中学校

① 運営主体	睦沢ふれあいスポーツクラブ		
② 種目	バレーボール	④ 参加者数	15人
④ 活動日	日曜日	⑤ 活動場所	睦沢中学校体育館
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり 1,600 円/時間
⑨ 指導者属性	睦沢ふれあいスポーツクラブから指導者1名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり（1人あたり：3,500 円/年額）		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

・アンケートは成果物として添付

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

教員の方々の地域連携の理解に関しては、あまり無理な要求をせずに教員が対応できる範囲を助言していくこととした。平日の部活動と休日の部活動を完全に切り離すことは難しいので徐々に地域移行を進めていく。取り組みにおいては、積極的に視察の受け入れなども行い、様々な外部の情報を得るように心掛けた。また、制度の周知のために小学6年生のための体験会を開催して次年度の参加者獲得に努めた。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

生徒たちに専門的な指導やスポーツを打ち込める環境を提供することに関しては昨年度に比べてバレーボールの種目を追加して、2部活の地域移行を実施したことで一部は達成できたと思う。教員の負担軽減に関してはアンケート調査から、部活動によって効果の差があることがわかる。活動場所や参加人数も異なるので単純な比較は難しいが、報告会や検討会を今後も継続的に開催して負担が軽減できる事業の方法を模索していきたい。また、保護者への参加費負担の理解も今年度の事業を通して、必要であることがわかった。来年度のPTA総会の際において本町の地域部活動の説明を行う見込みであるので、その場で会費負担についても説明をする予定である。そして、今年度末に設置した「睦沢町地域クラブ活動推進協議会」において本町の方針を示すことで来年度以降の地域部活動事業を円滑に推進する。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

今後も引き続き指導者と学校側を含めた定期的な報告会や検討会を継続していく。また、推進協議会で町としての全体方針を定めることで目標を明確にして、事業に取り組む。また、他市町村と連携をとることも検討して地域以降を発展させていきたい。

【受け皿団体の確保方策】

現在、睦沢ふれあいスポーツクラブに指導者の派遣や日程の調整を委託しているが、今後に対象の部活が増えていくことを想定すると他の受け皿の確保は重要である。1つの団体の負担を減らすためにも広域的な連携を取り、種目ごとに担当する団体を分けるといった方法を検討していく。

【指導者の確保方策】

本町には駅がなく、またバスの本数も少ないために遠方から指導者を呼ぶことは地理的に難しい。必然的に近くで指導者を探す必要が生じている。そのため、非常に限られた範囲での募集になるために、条件に合う指導者を見つけるのが困難な状況である。地域クラブ活動の人材バンクを活用して、条件に合う指導者を探していきたい。